

冬のおすすめ絵本



だれのあしあと



作・絵: [accototo](#)
ふくだとしお+あきこ
出版社: [大日本図書](#)

外はしんと雪が降り、あたり一面雪景色に。ねずみくんが嬉しそうに外に飛び出すと、そこには誰かの足あとが。足あとを辿ると...誰がいるかな? ハート型の足跡、ぴょんと跳ねている足あと、、、誰の足あとなのかあてっこをしようと大盛りあがり間違いなしです! やわらかなタッチの絵がとてもかわいらしいです。

だるまちゃんとうさぎちゃん



作・絵: [加古里子](#)
出版社: [福音館書店](#)

だるまちゃんとうさぎちゃんたちに、自慢の雪だるまを披露します。大きな雪だるま、おさむらいさんの雪だるま、うさぎちゃんの雪だるま...他にも冬の遊びをたくさん教えてくれます。雪だるま作りや、手袋を使っての人形の作り方、りんごさぎの切り方などをお話の中で詳しく教えてくれます。雪の日に遊んでみたいくなります。

このゆきだるま、だーれ?



作: [岸田 衿子](#)
絵: [山脇 百合子](#)
出版社: [福音館書店](#)

ちらら ほらら ひらら はらら ゆきが ふるふると、素敵な表現で始まります。もみちゃんが動物たちとそり遊びをするのですが、一緒に乗っていた動物たちが、次々と転げ落ちてしまいます。これはうさぎさん、これはふたさん、これはいぬさん...と、動物たちはゆきだるまに変身してしまいます。

おでんのおうさま



作: [山本 祐司](#)
出版社: [ほるぷ出版](#)

おでんの具って何が王様でしょうか?おでんの具たちが次々と自分自慢を始めます。おでんは みんなが おうさまです。みんなの あじが しみておいしい おでんになるのですよ。最後の文、大人はうんうん、と共感してしまいますね。

お化けの冬ごもり



作: [川端 誠](#)
出版社: [BL出版](#)

怖くなく、楽しく読めるおばけの絵本です。お化けたちがいろんな雪遊びをしたりして雪を満喫している様子は羨ましくなるほどです。小さなまくらをたくさん作って、夜になってその1つひとつにろうそくを灯している場面はとても幻想的です。冬にまつわるおばけだけでも、いろんな種類がいることを絵本の中で教えてくれます。

ゆきのうえゆきのした



文: [ケイト・メスナー](#)
絵: [クリストファー・サイラス・ニール](#)
訳: [小梨直](#)
出版社: [福音館書店](#)

まっしろに積もった雪の上をスキーしながら、その雪の下にいる動物たちを想像します。冬眠をして、うとうと、まどろんでいるもの、雪の下で食べ物を探しているもの、雪の上で獲物や食べ物を探しているもの。「雪のしたには秘密の世界がある」ドキドキするフレーズですね。